

## 景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成28年10月)

### ～節約志向が強まる中、足元の消費は気温要因に左右～

- 景気ウォッチャー調査・10月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が3か月ぶりに上昇、先行き判断は4か月ぶりの低下となった。(なお、今回より内閣府方針に基づき、各指数を原数値から季節調整値に変更)
- 足元の状況は、10月中旬ごろまでは残暑が長引き、秋物商品の売行きは低調に推移したものの、その後気温が急に下がったこともあり、冬物の販売には追い風が吹く形となった。一方、インバウンドによる消費については、百貨店で前年割れの動きが続いているほか、ホテルからも稼働率の低下に関する声が引き続き多い。
- なお、今月は野菜の価格高騰についてのコメントが散見される。夏から秋にかけての台風などで不作となった影響がいまだに続いている。一部には、客単価の押し上げにつながったなどの声もあるものの、多くは、消費者心理の悪化や節約志向の強化といった悪影響に関するものとなっている。
- 一方、先行きについては、今冬は去年の暖冬傾向から一転して寒くなるとの予報が出ていることから、百貨店を中心として季節商品の販売増加に期待が集まっているものの、全体的には透明感が強く、先が読めないとの声が多い。

#### 「残暑、気温」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	な や や 良 く	百貨店(営業担当)	・月末にかけて秋めいた気候になった影響か、富裕層の優良顧客では、冬物の婦人服や紳士服を急に購入する動きが増えた。海外高級ブランド品も、様々なイベントなどで動きが出てきている。
		百貨店(販促担当)	・売上の前年割れ傾向が今月も続いている。来客数は前年を超えそうであるが、客単価が落ち込んでいる。主に衣料品を中心とした高単価品の動きが鈍い。気温が下がりきらず、購買意欲の上がらないまま、低迷が続いている。
	変 わ ら な い	百貨店(商品担当)	・月前半は雨が多く、気温も高めであったため、ファッション関連を中心に、冬物の動きが悪かった。月半ばから気温が低下し、動きが出てきたものの、前半分を取り返すまでには至っていない。一方、外国人客の売上は、単価が下がっているものの、何とか前年の水準を維持している。また、催事は食品を中心に好調となり、集客面でも貢献している。
		百貨店(売場マネージャー)	・気温が下がってきた下旬になり、ようやく動きが活発化している。衣料品の販売数量としては、月合計で前年並みを確保したが、重衣料は上旬の不振で単価がややダウンした。食品などの催事強化でファッション以外も堅調に推移したことで、店舗としては前年実績をクリアしている。
		スーパー(企画担当)	・新店舗をオープンしたが、競合店の影響で想定したほど売上が上がらず、苦戦している。9月は既存店売上の前年比が97%、10月は新店舗を含んで100%と、ぎりぎりの状態である。気温の高い日が続いているので、飲料系の売上は前年を上回っているものの、菓子はマイナスである。ここへきて秋冬商材が動き出している一方、生鮮品は総菜部門以外、前年を下回っている。
		スーパー(経理担当)	・9月の雨の多さや気温の高さが落ち着くにつれ、売上は回復基調にある。ただし、ハロウィン商戦が盛り上がりをもせたものの、影響は限定的である。
	や や 悪 く な っ て	百貨店(売場主任)	・今月は売上目標を達成できる見込みである。ただし、一部の高額品が寄与している状態で、内容は良いとは言いがたい。特に、中間層を対象としたボリューム商品は、気温が高かったこともあるが、季節商品の動きが良くない。さらに、インバウンドの動きも良くないほか、客のファッション商品に対する節約志向がより鮮明になってきている。
		百貨店(営業担当)	・気温が高いためにファッション関連が悪いほか、菓子や総菜関連の食料品の動きも悪くなっている。

家計動向関連	やや悪くなっている	百貨店（服飾品担当）	・前月に続き、売上は大きく増えず、気温要因と顧客の購買意欲の低下による売上不振の影響がほぼ半々となっている。衣料品関係の売上が、インバウンド、国内客共に回復せず、化粧品が前年比で104%、プライダル商品が103%と、必要不可欠な物だけが好調に推移している。衣料品は軒並み95%となっており、婦人服、紳士服、子供服共に、重衣料の動きが悪い。防寒素材の追加生産を各メーカーが発注しないため、この状況は来年1月まで続くことが予想される。
		百貨店（外商担当）	・気温の高い日が続き、秋冬物の衣料品の売上が低迷している。時計売場を拡大してリニューアルオープンしたが、売上は予想よりも低調に推移している。
		百貨店（マネージャー）	・10月中旬まで気温が高く、秋物衣料の売上は前年比で70%と落ち込んだ。下旬になって気温が低下し、ようやく動きが出てきたが、85%までの回復にとどまっている。入店客数が1.2%減、買上客数も1.3%減と悪く、客単価が4.8%上昇し、休日も1日多いものの、売上全体は前年比でマイナスとなっている。
		スーパー（店長）	・ようやく朝晩の気温が下がってきたが、秋冬物の衣料品、身の回り品の動きが鈍い。また、食品は農産品の高騰の影響か、それ以外の商品での節約傾向がみられる。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・平年よりも高い気温が続いたことで、秋物の動きが非常に悪い。従来よりも高価格帯の寝具など、今まで提案できていなかった商品を出しているが、目立った反応はみられない。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・気温の変化に左右されるが、日中または1日ごとの気温の上下が激しく、ホット、コールドの対応が追いつかない。
企業動向関連	悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	・今年は9～10月にかけて雨が多く、気候の影響が大きかったために秋物が売れなかった。昨年は夏物が在庫として残ったが、今年は夏物と秋物が残っている。
		食料品製造業（従業員）	・気候が穏やかになり、食の秋で少しは良くなると期待していたが、月後半には少しずつ伸びがなくなってきた。小売業は全体的に低調で、足を引っ張られているように感じる。
		食料品製造業（営業担当）	・気温が急激に下がり、飲料水の売上も減少している。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・今月は、台風の影響もあって雨がやや多かったことに加え、気温も高低差が激しく、冬物素材が振るわなかった。一方、大阪市内の環状線沿線で開催されたイベントは、概ねにぎわう形となっている。

### 「野菜価格の高騰」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	なやや良くなっている	スーパー（企画担当）	・野菜の高騰が店舗全体の売上増に貢献している。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・悪化しているとはいえませんが、野菜、魚、肉など、すべての主要原料が高騰しているためか、安価な商品が売れているように感じる。必ずしも和牛が必要でない場合は、輸入牛で代替される比率が上がっている。魚や野菜は代替できないが、牛肉は豚肉や鶏肉に代替される可能性が高いと感じるため、ギフトシーズンが不安である。
	変わらない	一般小売店〔野菜〕（店長）	・野菜の仕入価格が高く、前年の3倍に上がっているが、状況は変わらないため苦しい。
		スーパー（社員）	・全国的な天候不順の影響は、客の来店回数の減少ばかりでなく、商品確保も難しくなり、野菜などの生鮮食品価格の上昇につながるなど、店頭には大きな影響がみられる。結果として、客が1回当たりに購入する商品の数量が、やや減少傾向となっている。
		一般レストラン（経営者）	・野菜の高騰で消費者の財布のひもが固く、外食の機会が減っている。夜はプロ野球の日本シリーズがあったため、来客数が減少した。近隣の飲食店も来客は少なかったと聞いている。
	なやや悪くなっている	スーパー（店員）	・野菜の価格が高過ぎたので、半分のサイズで売った物やカット野菜、値引きした商品しか、あまり動きがない。
コンビニ（広告担当）		・野菜などを中心に価格の高騰が続いており、財布のひもは固い感がある。	

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 14												年 15												年 16																	
		月 9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10		
現 状 判 断	近畿	50.7	51.0	49.6	49.3	50.0	53.1	50.1	50.9	51.1	52.4	50.8	51.5	51.4	53.4	50.7	51.2	49.5	46.0	39.9	40.2	41.3	39.1	45.3	45.2	44.5	47.6																
	(全国)	49.1	47.5	45.6	46.9	47.3	49.7	48.5	49.8	50.9	49.8	49.7	50.0	48.7	51.4	50.3	50.5	48.6	44.4	41.3	39.7	40.8	39.8	43.2	45.7	46.3	49.3																
先 行 き 判 断	近畿	52.6	50.3	49.6	49.3	50.8	54.0	54.3	54.9	53.3	53.6	53.3	49.0	50.6	51.4	49.8	49.2	47.3	47.0	45.6	45.8	46.3	40.6	46.5	48.5	49.8	49.2																
	(全国)	50.4	49.2	48.0	49.4	50.2	51.7	51.7	50.9	51.3	51.4	51.4	49.7	50.5	51.7	52.1	51.0	49.8	46.1	45.1	42.3	44.0	39.4	46.5	48.8	49.9	51.4																

※季節調整値